

CAMPUS COMMUNICATION

CELERY

中村学園大学・中村学園大学短期大学部 広報誌【セロリ】

2010

7

July

No.

76



栄養科学研究科
20周年

◎ 流通科学研究所 国際セミナー

◎ 学生企画・活動 カラフルなかじょ〜お弁当の日

やり直し～!

(橋本先生の口癖)

短期大学部 幼児保育学科

橋本ゼミ

2年生 31人

講師

橋本 弘治先生

「また、ですか～」先生は文章が上手」 /



Vol. 18

WAGAZEMI...

Welcome to Our Seminar

わがゼミ案内



物事を真と偽に分け、論理的思考を養う

一世の中の善と悪の両方から本質を見抜く一

1年次は、学生たちの自由な発想で子どもが楽しめるオブジェや遊具を作り、2年次になるとテーマを決めて3人1組で卒論を書くことで、論理的思考を学んでいきます。

橋本先生から頂いた論理についての資料の冒頭には、「倫理を知らない研究者は研究を論じる資格はない。論理を知らない教育者は教育を論じる資格はない」とあります。橋本ゼミで最も重視する点は「論理的思考を養う」こと。保育士や幼稚園教諭を目指す学生にとって、なにより大切なことだと橋本先生は言います。

「世の中には良い物も悪い物も両方あります。両方見ることでも本質が見えてきます。例えばわがままで言うことを聞かない子どもの良いところを探すと同時に、笑顔で素直な子どもの悪いところを探さなければなりません。笑顔の奥に大きな陰がある可能性が高いからです。思い込みの強い『だろっ保育』ではなく、可能性を考える『かもしれない保育』を目指す必要があるからです」と橋本先生。

橋本ゼミでは、1年次は、トイレットペーパーの芯を使ったオブジェや、ダンボールを使った小さな家など、一人ひとり自

由にモノを作りあげていきます。2年次になると、3名が1グループになり、グループでテーマを決め、卒論としてまとめます。学生たちのテーマは「アニメと漫画の影響について」「お菓子の歴史について」「早期教育について」など様々。「星の王子様について」調べる学生は「お話の背景に戦争があることを知り、ネットや本を参考に調べています。作者の残したメッセージを読み解きたい」と意欲満々です。

3人1組にするのは、責任感を身につけるのに一番だと橋本先生。1人がやらないと2人に迷惑がかかるので、3人がバランス良く取り組むのだそう。「短大で卒論を書くのはこのゼミだけです。保育者として必要なのは、なりたいたいという気持ち、知識と技術、なるという覚悟。なると決めたからには、自分を鍛えなければなりません。情報収集能力、情報解析能力、情報発信能力を身につけるために卒論を書くのです。また、表現したいことを言葉にして伝えられるように、文章指導にも力を入れています」。

身近なテーマを題材に、論理的思考力や言葉にして伝える力を磨きながら、学生たちは日々成長しています。



CONTENTS

01 わがゼミ案内
短期大学部幼児保育学科
橋本弘治ゼミ

03 栄養科学研究科20周年インタビュー
未来につながる栄養科学を研究する

04 中村学園大学流通科学研究所
第5回国際セミナー開催

05 カラフルなかじょ お弁当の日

06 中村学園三陽中学校で
学校給食が始まりました。

07 卒業生インタビュー
【卒業生のページ】
就職課コラム

08 平成21年度卒業生 就職状況

09 平成23年度 入学試験のお知らせ

11 学校法人中村学園 平成21年度決算

13 学校法人中村学園 平成22年度予算

15 中村学園田島グラウンドの
治水対策について

16 曙寮運動会
付属幼稚園だより

17 女子プロボクサー 黒木優子さん
中国ライトフライ級3位に見事勝利！

18 平成22年度(第37回) 公開講座のお知らせ

19 EVENT & NEWS

・学内の行事
・教員表彰
・研究助成・受託研究採択

未来につながる 栄養科学を研究する

中野修治 ● 栄養科学研究科長

平成2年に開設された栄養科学研究科は今年20周年を迎えました。栄養学系では西日本随一の高度研究機関として社会に貢献しながら大きな研究成果を上げ、時代を担う研究者、栄養科学の専門家を育成しています。今までの成果と今後の取り組みについて、同研究科長の中野修治教授に伺いました。



食と疾病予防が主要なテーマ

栄養科学とは食物とヒトをつなぐ学問です。この点と点をつないだ線上で、広がりのあるさまざまな研究が行われています。60兆個あるヒトの細胞を維持できるのは、ヒトが体外から食物を摂取でき、消化、吸収して栄養として代謝され、余剰な物を体外に排泄できる機能があるためです。しかし、ヒトの歴史から言うと、現代のように食物を何時でも、好きなだけ食べられる環境はごく最近のことです。近年、食品の機能性、栄養の生理機能など栄養科学の分野は飛躍的に発展しましたが、現在のような飽食の時代に食物摂取の異常が原因で起こる疾患、たとえば糖尿病や癌が加速度的に増えているのも事実です。栄養科学の研究が進んでいるにもかかわらず、一方で栄養摂取の異常が発端となり疾病を抱えていくという現状を容認してはなりません。これを食い止めることがこれからの栄養科学研究科に課された使命であると考えます。

“栄養を科学”する大学院

直面している問題は、根拠のない食に関する情報があふれていることです。〇〇ダイエットや〇〇を食べて癌が消えたなどはその最たる例です。このような情報に消費者は踊らされ、サプリメントや特定の食品を食べるあまり、食事の基本はポロポロといった方が増えていきます。氾濫するこれらの情報を正確に評価できることは必須であり、その上で根拠のある研究を行い、その結果を社会に還元しなければなりません。ここで、栄養科学が食物とヒトの線上にあることが重要になってきます。試験管や動物レベルのことが実際に臨床に应用できるのか、疫学調査で明らかになったこと

が分子メカニズムとしてどのように関連しているのか、in vitro（試験管レベル）とin vivo（生体レベル）を総合的に科学的視点で捉えることが必要なのです。本学の栄養科学研究科にはこれらの研究が行える施設が整備され、さまざまな分野の研究を進めており、多くの成果を国内外で発表しています。また今年度から「栄養科学に基づく癌予防」の研究が文部科学省の「大学の特色を生かした研究」として戦略的研究基盤形成支援事業にも採択されるなど活発な研究が行われています。

栄養科学研究科を志望する学生さんへ

これまでの学部教育では過去の研究者が積み上げた既存の知識を詰め込むことが重要視されていましたが、大学院では知識を受容する立場から供給する立場へとなることが最終目標です。そのためにはあらゆる事象に疑問を持ち科学的視点で解し解決策を見出すことのできる能力、これらは一見簡単なようですが、真の探求心を持った者にしかできません。この経験は将来どのような職業につこうとも、必ず役に立つと思います。未来の栄養学の根幹となるような研究を私どもと一緒に、次世代の栄養学の歴史を築く担い手となりましょう。



6/19 SAT 第5回国際セミナーが開催されました。



甲斐 諭所長



植田 孝氏



馬 増俊氏



崔 炳玉氏

- 【共通テーマ】 アジアの食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向～日中韓の新動向～
- 【コーディネート】 流通科学研究所 所長 教授 甲斐 諭
- 【講師・テーマ】 大果大阪青果株式会社 代表取締役社長 植田 孝
「日本の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」
中国全国城市農貿中心連合会 会長 馬 増俊
「中国の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」
韓国農村経済研究院 部研究委員・博士(農学) 崔 炳玉
「韓国の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」

平成22年6月19日(土)、本学西2号館4階で第5回目となる「流通科学研究所国際セミナー」が開催されました。研究者や一般の方はもちろん、日本の卸売業界関係者、中国から卸売業界の視察団の方々も多数参加し、国際色豊かなセミナーとなりました。

セミナーでは、まず、流通科学研究所長の甲斐諭教授が講師紹介と解題を行い、食料消費構造の変化の要因を①人口の増減(高齢化・少子化)、②食の簡便化傾向(外部化)、③製造・加工段階の技術開発(輸入冷凍・冷蔵食品の増加)、④経済の状況(所得の増減・安全安心志向)に求めたうえで、日本だけでなく中国や韓国でも同じ状況であることを説明しました。

最初の講演は、東京の大田市場に次いで日本第2位の取引量を誇る大果大阪青果株式会社代表取締役社長の植田孝氏で、テーマは「日本の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」。

植田社長は、昭和50年代に流行った産地直送の試みは今ではほとんどが撤退しており、現在のスーパーではむしろ大手から仕入れているという意識が高いこと、市場経由率が下がっているといわれるが、国産の生鮮食料品の93・94%は市場経由していることを指摘。今後は卸売業界が団結して無意味な競争を防ぐことも大切ではないかとの認識を示しました。最後に、農家がなくなれば日本は滅びると注意を喚起して講演を終えました。

続いて、中国全土4,000か所の市場で農産物を束ねる連合会の会長であり、世界の卸売市場協会の理事も務める馬増俊氏が「中国の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」をテーマに講演しました。馬会長は、中国の卸売市場の特徴として、①投資主体が様々であること、②日本では価格の安定など公益性が高いが、中国では営利目的が強いこと、③取引形式も競りではなく、相手への現物相対取引が中心である

ること、④経営規模が小さく流動性が強いが、最近ではグループ化経営が加速し、個体市場の規模も急激に拡大しつつあることなどを説明。最近では、供給の保障や価格の安定といった公益的機能への転換も見られ、電子ビジネス機能や配送機能の強化、廃棄物の有効な処理など、市場の新機能が育ちつつあること、卸売市場が国際農産物貿易の新たな土台となりつつあることを説明しました。

3番目は韓国農村経済研究院の部研究委員であり農学博士の崔炳玉氏が「韓国の食料消費形態の変化と卸売市場の展開方向」をテーマに講演しました。

崔博士は、韓国の食品消費変化の要件について、①所得増加と所得の両極化など経済的要因、②高齢化などの人口社会的要因、③就業女性の増加など女性の経済活動増大、④大型スーパーの拡大と電子取引の活性化など流通環境の変化を挙げました。また、卸売市場をめぐる農産物流通の変化については、産地と消費地の規模化が進み、直接取引や電子取引の比重が増加している現状を説明した上で、こうした流通の変化に対応できれば卸売市場の位相は弱くなるとして、物流効率性と価格効率性の向上が欠かせないことを指摘しました。

最後に、パネルディスカッション形式で質疑応答が行われ、中国の消費形態の変化や中韓の消費拡大政策といった質問が相次ぎました。この日の参加者数は175名。時間が足りなくなるほどの活発な質問に、参加者の関心の高さがうかがえました。

カラフル ながじょ

お弁当の日



栄養科学部の学生ら中心に週に1回開催中！

福岡市内の大学に広がる 「お弁当の輪」

九州大学で始まったという『お弁当の日』。週に一度、お弁当のテーマが設けられ、一人一品持ち寄るというおもしろい取り組みが注目され、現在、福岡大学や西南学院大学など福岡市内の大学に「お弁当の輪」が広がっています。

中村学園大学でも栄養科学部の学生の間で2007年秋から『カラフルながじょ』お弁当の日が始まりました。現在メンバーは同学部3、4年生の8名。「作る楽しさ、食べる楽しさ、感謝する気持ちを学ぶ」をモットーに、毎週水曜、テーマに沿った一品を持ち寄ります。

父の日、七夕などテーマは様々ですが、取材日のテーマは『ジュンブライド』。カラフルで見た目きれいな料理が並びました。「この取り組みを始めたのは先輩たちで、私たちが引き継ぎました。毎回のテーマは決めますが、その他の食材や担当者などは決めないようにしています。参加できるときに無理なく作れ、みんなで持ち寄って味わうお弁当の楽しさを優先させたいから（笑）」と代表の乗富麻未さん（4年）に、自慢の料理を解説してもらいました。

私たちがつくりました！



生春巻き

作 中野友絵さん（4年）

家でよく作る得意料理、生春巻きを作りました。結婚式はソースにいろいろこだわるので、バジルソースとトマトチリソースの2種類。みんなの料理を食べて、自分にはない料理の発想や盛り付けが勉強になります。



白玉のフルーツポンチ

作 出地祐美さん（3年）

白玉に色をつけ、お祝いの日にふさわしいカラフルなフルーツポンチを作りました。リンゴは花形に切り、夏のさわやかさを出すために、ユズはちみつベースのシロップにしました。



牛肉の赤ワイン煮込み

作 堀田麻紀子さん（3年）

結婚式の豪華さを演出するために、牛肉を使ってみました。愛の香りとして知られているシナモンを加え、赤ワインで2時間程煮込んでいます。



ちらし寿司

作 古庄未弥さん（3年）

今日は初めての参加で、朝5時半に起きて作りました。テーマがジュンブライドなので、見た目華やかにみえるよう、ピンクのどんぶを散らしてみました。中には鮭フレークが入っています。



海鮮ちらし寿司

作 代表 乗富麻未さん（4年）

先日、従兄弟の結婚式で出た海鮮ちらし寿司を作りました。サーモンを花のように飾り付けています。みんなの盛り付け味付けに興味津々。なによりみんなで楽しく、おいしく食べられます。



ケーキ寿司

作 陶山純子さん（4年）

お祝いと言ったらケーキとお寿司のイメージなので、一緒にしてみました。結婚式らしく全体をハート形にして、人参や大根もハート形に切ってかわいらしく演出。料理を考える時点で、テーマに関連した食材や料理について調べるのは意外におもしろいです。

●ブログもあります。

<http://d.hatena.ne.jp/kaori0930/>

★参加者募集中！★

中村学園三陽中学校で 学校給食が始まりました。

「食の中村」といわれる大学との強い連携によって実現。
福岡県内の私立中学で初の試みとなっています。



中村学園大学併設校の三陽中学校（福岡市西区）では、新1年生を対象に学校給食を開始しました。県内の私立中学初の試みとあって、保護者や学校関係者の注目を集めています。

4月19日（食育の日）の見学会に参加した保護者たちが、実際のメニューを味わいました。この日の献立は「たけのこご飯、さくら麴の澄まし汁、チキンの照焼生野菜添え、こんにゃくとレンコンの含め煮、菜の花のお浸し」と盛りだくさん。

これは、大学の「食育館」の献立をベースに、男子中学生の食事摂取基準を満たすよう考えて作られたものです。和食の基本の形である「一汁三菜」は、栄養バランスがよく身体の調子を整えるうえに、四季折々の旬の食材や日本の食文化に触れることができます。中村学園の学園祖・中村ハル先生の影響を受け継ぎ、大学のノウハウ、学園事

業部の技術があつて、はじめて実現した学校給食といえます。

また、食べる環境も大切です。新しく作られたランチルームは杉材のテーブルやいすが使われています。食器は、八女市立花町産の竹を使った竹樹脂食器に漆塗装したものを採用。軽く割れにくいうえに、熱くならないのが特長です。また、製造から焼却までの二酸化炭素排出量はプラスチック製より大幅に削減されており、環境面にも配慮されたエコ食器です。

この食器が縁となり、三陽中学保健委員会の生徒が八女市立花町の8小中学校で環境授業を行うなど、いい繋がりが生まれています。

今回の給食導入は生徒・保護者ともに好評です。食や教育が見直される昨今、学校給食の導入は、子どもの豊かな人間性を育むうえで大きな影響を及ぼしそうです。

TOPIC

三陽の制服が、新しくなりました。動きやすくて着心地がいいと評判です。



卒業生 インタビュー

危機的状況でも笑う。 笑顔は子どもたちに 安心感を与えます。 3年目の今でさえ鏡の前で練習の日々。

幼稚園教諭 坂本 裕美さん
平成19年度中村学園大学短期大学部
幼児保育科(現幼児保育学科)卒業



小さい時から子どもが大好き。幼稚園の年少組のころ、優しくて大好きな先生との出会いもあり、そのころから幼稚園の教諭になるのが夢でした。高校進学の際には、幼稚園の教諭になるためには音楽ができればたら有利だと思い、芸術音楽専攻の高校へ。大学は、就職率が高く幼児保育科(現在の幼児保育学科)のある中村学園大学短期大学部へ進む。夢に向かってまっしぐらでした。

高校時代に体育祭の長をやったり、

大学では学園祭のミスキャンパスで司会をしたりと昔から前に出ることが得意でした。また、明るい性格なので、幼稚園の教諭に向いてるだろうと自分では思っており、周囲からもそう言われていました。

実際に幼稚園で働いてみると、そんな気持ちが打ち砕かれました。働き始めて1年目。年少の担任を受け持つことになり、主任が副でサポートをしてくれるものの、28名を一人で見なければなりません。右も左もわからない状態とにかく不安でした。私が不安な顔をしていると、子どもたちまで不安になってしまいます。とにかく楽しんで、子どもたちと接さなければならぬ。先輩方にも「常に笑顔で」と注意されるし、自分でも頭ではわかっているのですが、実際には全く笑顔が出なくなっていました。笑えないのです。

そのとき言われたのが「危機的状況でも笑う」こと。その後、徐々に笑顔が出るようになりましたが、これら今でも課題になっていて、毎日、鏡に向かって笑顔の練習をしています。

もう一つ、私が大切にしていること

は、子どもたちにここまでできないというラインを引かないことです。例えば、さか上がりができない子がいるとします。「できなくていいよ」ではなく、「今日は、ここまでではできない」というできるラインを作ってあげます。褒めたり励ましたりしつつ可能性を伸ばすことがなにより大切だと思っています。すると、ある日突然「先生、さか上がりができるようになった」と喜んで報告してくれるのです。この瞬間がとてもうれしいです。

長丘幼稚園には、尊敬できる先輩方がたくさんいます。特に主任は憧れで

就職課 コラム

新聞を“読む習慣(クセ)”をつけよう!

新聞は、活字情報の中で最もニュース性の高い資料です。業界の動向や景気の変動など、企業などに関する情報も豊富です。志望業種を絞り込むなどして、自分の興味が明確になれば、さらにどこを読めばいいか判断できるようになるはず。新聞を読むことで、就職試験の一般常識、時事問題の対策がグッと楽になります。もし新聞を読む習慣がないのなら、今すぐにでも“読む習慣(クセ)”をつけましょう。



文部科学省発表の「平成21年度大学等卒業者の就職状況調査（4月1日現在）」によると、大学生の就職率は91.8パーセント、短大生の就職率は88.4パーセントでした。“就職氷河期の再来”と報道される厳しい雇用環境がある中、平成22年3月卒業生は健闘しましたが、企業等への就職状況は厳しい結果でした。

日頃の生活習慣を見直し、早期に自分の進路を検討し準備することが大切です。

大学

職業別分布

職業	割合
(管理) 実業士	77.3%
病棟	22.4%
施設 幼稚園・保育園	11.2%
施設	8.4%
製造	8.4%
公務員	1.7%
卸小売	7.0%
サービス	1.4%
情報通信	1.4%
製造	40.6%
飲食・宿泊	100%
受託給食	32.2%
その他	0.5%
高専・福祉	11.1%
専門学校	11.1%
大学	11.1%
短大	2.2%
高校	44.4%
教員	4.9%
総合職 他	17.3%
サービス	3.1%
情報通信	3.1%
ガス	3.1%
教育	3.1%
公務員	9.4%

業種	割合
総合業	52.9%
サービス・飲食	32.1%
卸小売	39.5%
建設	1.2%
教育	1.2%
医療・福祉	1.2%
運輸	2.5%
金融・保険	7.4%
情報通信	4.9%
営業	17.0%
事務	17.0%
販売	6.5%
卸小売	70.0%
製造	4.0%
小売	3.0%
公営	10.0%
飲食	10.0%
サービス	10.0%

職業	割合 (%)
保育士	52.2%
幼稚園	93.5%
教員	40.0%
公務員	6.5%
総合職	5.8%
卸小売	14.3%
製造	14.3%
情報通信	14.3%
サービス	28.6%
施設	5.0%
公務員	11.7%
不動産	14.3%
公務員	14.3%
医療福祉	50.0%
公務員	50.0%
その他	1.7%
保育園	83.3%

就業分野	割合
小学校	97.3%
教員	88.1%
公務員	100%
その他	2.4%
卸小売	25.0%
教育	25.0%
運輸	25.0%
サービス	25.0%
幼稚園	2.7%
総合	9.5%

就職決定者のうち約9割の学生が小学校教員（正規教員）を占めており、企業、幼稚園の決定者が約1割の状況です。小学校教員採用試験の現役合格者は平成20年度は延べ15名でしたが、平成21年度は延べ41名と大幅に合格者が増加しました。この41名のうち九州内の自治体合格者は23名ですが、九州以外（東京都、横浜市、大阪府等）の遠隔地域の自治体へのべ18名が合格したことが大きな特徴です。小学校教員は正規教員以外に、臨時的任用教員（常勤講師）、非常勤講師としても採用されています。

Category	Percentage
栄楽士	80.4%
保育園	41.1%
受託給食	28.9%
入院	11.1%
施設	8.9%
製造	6.7%
卸小売	3.3%
サービス	25.0%
公務員	5.0%
金融・保険	15.0%
医療・福祉	15.0%
製造	5.0%
飲食・宿泊	5.0%
飲食・宿泊	10.0%
その他	1.8%

業種	割合 (%)
販売	83.3%
総合職	8.5%
郵小売	8.3%
金融・保険	5.0%
医療・福祉	4.2%
製造	4.2%
運輸	2.6%
建設・不動産	2.6%
その他	13.1%
サービス	18.2%
製造	14.3%
郵小売	9.1%
医療・福祉	7.8%
金融・保険	29.9%
サービス	5.2%
営業	5.2%
その他	13.1%
金融・保険	5.0%
医療・福祉	10.0%
運輸	10.0%
郵小売	15.0%
飲食・宿泊	20.0%
その他	25.0%

職種	割合
保育士	62.8%
幼稚園	95.9%
教員	33.7%
幼稚園内託児施設	0.8%
公務員	3.3%
事務 他	3.1%
医療・福祉	66.7%
公務員	1.5%
製造	16.7%
金融・保険	16.7%
教育	100%
その他	0.5%

就職決定者で最も多い職種は保育士で、次いで幼稚園教諭です。保育士が就職決定者の約6割を占めています。ほぼ全員が専門職（保育士、幼稚園教諭）に就職しており、企業に就職した者は若干名です。近年の特徴として専門職（保育士、幼稚園教諭）において、臨時職としての採用が増加しており、中でも保育士決定者の内、3割を臨時職が占めています。

入学定員および募集人員

中村学園大学

学 部	入試種別	入学定員	推薦入学選考			試験入学選考		大学入試センター試験利用入学試験		外国人留学生特別入学試験	帰国子女特別入学試験
			公募制	指定校制	併設校制	前期	後期	前期	後期		
栄 養 科 学 部		200	70	—	20以内	90	5	12	3	若干名	若干名
教 育 学 部		220	80	—	15以内	100	5	15	5	若干名	若干名
流 通 科 学 部		220	20	45	45以内	85	5	7	3	10(※1)	若干名
合 計		640	170	45	80以内	275	15	34	11	若干名10	若干名

中村学園大学短期大学部

学 科	入試種別	入学定員	推薦入学選考			試験入学選考	外国人留学生特別入学試験	帰国子女特別入学試験	社会人特別入学試験
			公募制	指定校制	併設校制				
食 物 栄 養 学 科		150	37	60	15以内	33	若干名	—	5以内
キャリア開発学科		150	10	110	15以内	15	若干名	—	—
幼 児 保 育 学 科		190	75	60	15以内	40	若干名	—	若干名
合 計		490	122	230	45以内	88	若干名	—	若干名5以内

※1 推薦入学選考・試験入学選考の合計人数

※上記以外に編入・転入学試験があります。詳しくは入試課までお問い合わせください。(入試課直通電話 092-851-6762)

※指定校制推薦入学選考については別に定めます。

推薦入学選考

■出願資格

※合格の場合、必ず入学することを条件とします。

(1) 向学心が強く、本学の教育方針に賛同する者。

(2) 調査書記載の「全体の評定平均値」が次の値以上の者。

□ 中村学園大学／栄養学部……………3.6以上

□ 中村学園大学短期大学部／食物栄養学科……………3.2以上

教育学部……………3.4以上

キャリア開発学科……………3.0以上

流通学部……………3.4以上

幼児保育学科……………3.2以上

(3) 平成23年3月高等学校若しくは中等教育学校卒業見込みの者で、学校長が推薦する者。

■日程および選考科目

中村学園大学◆公募制・併設校制【栄養学部・教育学部・流通学部】◆

出 願 期 間	平成22年11月1日(月)～11月10日(水) ※締切日必着			
選 考 日	平成22年11月18日(木)			
選 考 科 目	I	適性検査	9:30～10:30	60分
	II	小論文	11:15～12:15	60分
	III	面接	13:15～	
選 考 場	本学(福岡)			
選 考 方 法	調査書、適性検査、小論文及び面接による総合評価とする。 なお、面接は学科の教育目的・目標に適合するかどうかを重視する。			

中村学園大学短期大学部

◆公募制・併設校制【食物栄養学科・キャリア開発学科・幼児保育学科】◆

出 願 期 間	平成22年11月1日(月)～11月10日(水) ※締切日必着			
選 考 日	平成22年11月19日(金)			
選 考 科 目	I	小論文	10:00～11:30	90分
	II	面接	12:30～	
選 考 場	本学(福岡)			
選 考 方 法	調査書、小論文及び面接による総合評価とする。			

※幼児保育学科の出願希望者は、選考において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユープンゲン3度音程を歌えることが望ましい。

■合格者発表 平成22年11月26日(金)

本学に掲示する。学校長および本人宛速達便にて通知するほか、電話・携帯電話・パソコンを利用した可否案内システムでも行う。

NAKAMURA
TOPICS

人間発達学部 人間発達学科は

【教育学部】児童幼児教育学科に生まれ変わります。

平成23年4月から、現在の「人間発達学部 人間発達学科」を「教育学部 児童幼児教育学科」に改組し、入学定員も200人から220人へ増員する予定です。

なお、これまでの専攻制(幼児発達学専攻、児童発達学専攻)は廃止し、学科単位で入学試験を実施します。

また、これまでには入学した専攻により取得可能な免許・資格が限られていましたが、新学部では入学後、2年進級時に希望する免許・資格の選択を行うことが可能となります。

【改組前】

人間発達学部
人間発達学科
幼児発達学専攻(100人)
[※3年次編入学10人]
児童発達学専攻(100人)

【改組後】

教育学部
児童幼児教育学科(220人)
[※3年次編入学10人]

※()内数字は入学定員

☆「教育学部」の詳細については、次号(10月末発行)にてお知らせいたします。

試験入学選考（一般入試）

■出願資格

- (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者および平成23年3月卒業見込みの者。
- (2)その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

■日程および試験場

	前期日程	後期日程
出願期間	平成23年1月6日(木)～1月21日(金)※締切日必着 平成23年2月1日(火)	平成23年2月18日(金)～3月1日(火)※締切日必着
試験日	平成23年2月2日(水) 平成23年2月3日(木)	平成23年3月7日(月)
試験場	流通科学部 栄養科学部 教育学部 短期大学部	栄養科学部 教育学部 流通科学部
	本学(福岡)・山口・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島	本学(福岡)

平成22年度入学試験との主な変更点

- ①・「化学」化学Ⅰ・Ⅱから出題→化学Ⅰのみから出題
・「生物」生物Ⅰ・Ⅱから出題→生物Ⅰのみから出題
- ②大学全学部において、試験入学選考（一般入試）後期日程を導入する。

■試験科目

中村学園大学

	前期日程	後期日程
栄養科学部	Ⅰ. 英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] Ⅱ. 選択科目一下記から2科目を選択 ○国語 [国語総合 (漢文を除く)] ○数学 [数学Ⅰ・Ⅱ、数学A] ○化学 [化学Ⅰ] ○生物 [生物Ⅰ]	Ⅰ. 英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] Ⅱ. 国語 [国語総合 (漢文を除く)]
教育学部	Ⅰ. 英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] Ⅱ. 国語 [国語総合 (漢文を除く)] Ⅲ. 選択科目一下記から1科目を選択 ○世界史 [世界史B] ○日本史 [日本史B] ○地理 [地理B] ○数学 [数学Ⅰ・Ⅱ、数学A] ○化学 [化学Ⅰ] ○生物 [生物Ⅰ]	Ⅰ. 英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] Ⅱ. 国語 [国語総合 (漢文を除く)]
流通科学部	Ⅰ. 英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] Ⅱ. 国語 [国語総合 (漢文を除く)] Ⅲ. 選択科目一下記から1科目を選択 ○世界史 [世界史B] ○日本史 [日本史B] ○地理 [地理B] ○政治・経済 ○数学 [数学Ⅰ・Ⅱ、数学A]	Ⅱ. 国語 [国語総合 (漢文を除く)]

中村学園大学短期大学部

食物栄養学科	Ⅰ. 選択科目一下記から2科目を選択 ○英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] ○国語 [国語総合 (古文、漢文を除く)] ○化学 [化学Ⅰ] ○生物 [生物Ⅰ]	10:00～12:00	120分	各100点 (200点満点)
キャリア開発学科 幼児保育学科	Ⅰ. 英語 [英語Ⅰ・Ⅱ] Ⅱ. 国語 [国語総合 (古文、漢文を除く)]	10:00～11:00 11:45～12:45	60分 60分	各100点 (200点満点)

※ 幼児保育学科の出願希望者は、入学試験において音楽実技テストを課さないが、幼稚園教諭や保育士を志す者として、入学時にバイエル教則本40番までを演奏することができ、かつコールユニオン3度音程を歌えることが望ましい。
※ 共通科目(英語及び国語の2科目)で受験した場合、すべての学科において第2志望を認める。

■合格者発表

〈前期日程〉平成23年2月11日(金・祝)

〈後期日程〉平成23年3月15日(火)

本学に掲示する。また、電話・携帯電話・パソコンを利用した場合案内システム、および本学公式ホームページでも行う。
(合格者には、後日、合格通知を速達便にて送付する。)

(大学) 大学入試センター試験利用入学試験

■出願資格

- 次の(1)または(2)の要件を満たし、「平成23年度大学入試センター試験」において、本学が指定する教科・科目を受験した者。
- (1)高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者および平成23年3月卒業見込みの者。
 - (2)その他文部科学省令により、上記と同等以上の学力があると認定された者。

■試験科目

■出願期間および選考方法

出願期間	〈前期日程〉平成23年1月6日(木)～平成23年1月21日(金) 〈後期日程〉平成23年2月18日(金)～平成23年3月8日(火)
選考方法	・平成23年度大学入試センター試験の成績を基に判定する。 なお、平成22年度大学入試センター試験の成績は利用できない。 ・本学の個別学力試験は課さない。

学部	種別	教科	科目	配点	合計
栄養科学部	前期日程	外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		国語	「国語」	100点	
	後期日程	数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点×2	300点 外国語は100点に換算する。
		理 科	「化学Ⅰ」 「生物Ⅰ」	100点	
教育学部	前期日程	外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		国語	「国語」	100点	
		地理歴史	「世界史B」又は「日本史B」又は「地理B」	100点	
		公民	「現代社会」又は「倫理」又は「政治・経済」	100点	
	後期日程	数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点	300点 外国語は100点に換算する。
		理 科	「物理Ⅰ」又は「化学Ⅰ」又は「生物Ⅰ」又は「地学Ⅰ」	100点	
		外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	
		国語	「国語」	100点	
流通科学部	前期日程	地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」から1科目選択	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」から1科目選択	100点	
		理 科	「物理Ⅰ」、「化学Ⅰ」、「生物Ⅰ」、「地学Ⅰ」から1科目選択	100点	
		外国語	「英語(リスニングテストを含む)」	100点	
	後期日程	国語	「国語」	100点	300点 外国語、国語は100点に換算する。
		地理歴史	「世界史B」、「日本史B」、「地理B」から1科目選択	100点	
		公民	「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」から1科目選択	100点	
		数 学	「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」、「簿記・会計」から1科目選択	100点	

■合格者発表

〈前期日程〉平成23年2月11日(金・祝)

〈後期日程〉平成23年3月15日(火)

本学に掲示する。また、電話・携帯電話・パソコンを利用した場合案内システム、および本学公式ホームページでも行う。
(合格者には、後日、合格通知を速達便にて送付する。)

平成21年度 決算

平成21年度決算は、平成22年5月26日開催の理事会において承認され、評議員会に報告し、意見を伺いました。平成21年度は、第4次中期総合計画（平成21年度～平成25年度）の1年目として、学園各々が事業計画達成に向け事業を行いました。その決算の概要は次のとおりです。

「資金収支計算書」

表1

1 収入の部	1 学生生徒等納付金収入
決算は53億7,200万円で、予算に対して4,300万円の増収でした。前年度決算に対して4,700万円減少しました。	
2 手数料収入	
手数料収入は1億7,900万円で、予算に対して2,100万円の増収でした。入学検定料収入は1億6,400万円で、前年度決算に対して1,200万円増加しました。	
3 補助金収入	
補助金総額は13億4,000万円で、予算に対して1億5,400万円の増収でした。国庫補助金収入では、大学・短大に経常費補助金が4億9,800万円交付されたほか、学生支援G.P.補助金が2,100万円、利子助成補助金が800万円交付されました。地方公共団体補助金収入では、高校・中学・幼稚園に経常費補助金が7億9,800万円交付されました。	
4 資産運用収入	
資産運用収入は2億700万円で、予算に対して7,200万円の増収でした。また、基金収入受取利息収入は1億9,500万円でした。	
5 事業収入	
事業収入は2億4,700万円で、予算に対して800万円の増収でした。また、中村学園事業部から寄付金4,000万円を受け入れました。	
6 前受金収入	
前受金収入は12億200万円で、平成22年度入学生が増えたため、予算に対して1億100万円の増収でした。	
7 その他の収入	
その他の収入は45億6,000万円で、予算に対して8,400万円の減少でした。女子中学・高校の校舎改築引当特定資産からの繰入収入14億4,800万円、及び施設設備引当特定資産からの繰入収入28億5,100万円を繰り入れました。	
1 人件費支出	
人件費支出は39億8,900万円で、予算に対して3,200万円減少し、前年度決算に対して4,600万円減少しました。退職金は1億7,700万円で、前年度決算に対して2,000万円減少しました。	

2 教育研究経費・管理経費支出

大学・短期大学部では、学生支援G.P.の推進、就職支援体制のさらなる強化（卒業生との交流会、海外提携大学への学生派遣、短期大学基準協会認定評価申請手数料、音楽館・体育館等耐震診断、教員免許状更新講習、東2号館売店解体工事、学生食堂・食堂・新館における定食喫食者に対する援助、城南寮食堂屋根防水工事など）を行いました。女子中高では、新校舎建築にかかるグラウンド残土処分・三陽中高では、体育館2フロア研理工事、志岐幼稚園では、創立30周年記念行事などを行いました。

3 施設・設備関係支出

表2

① 大学・短期大学部に校舎改築引当特定資産の組入
② 女子中高に校舎改築引当特定資産の組入
③ 減価償却額の累計額に見合う施設設備引当特定資産を積立
④ 第3号基本金引当資産に組入
以上、目的別に積み立てました。

「消費収支計算書」

表3

1 消費収入の部	1 寄付金
現物寄付金は1,200万円で、予算に対して300万円増加しました。また、卒業記念品としてコメント（大学・短期大学の広場に設置）を受け入れました。	
2 帰属収入合計	
決算は75億8,100万円で、予算に対して3億3,600万円の増収。前年度決算より1億6,500万円減少しました。	
3 基本金組入額合計	
決算は41億8,800万円で、予算に対して1億4,800万円減少しました。	
4 消費収入の部合計	
消費収入の部合計33億9,200万円が消費支出に充当できる金額で、予算に対して4億8,400万円の増収でした。	
1 減価償却額（教育研究経費・管理経費）	
決算は8億600万円で、予算とほぼ同額で、前年度決算より1,000万円増加しました。	
2 資産処分差額	
決算は4,700万円で、予算に対して1,100万円増加しました。	
3 消費支出の部合計	
決算は88億7,300万円で、予算に対して1億2,500万円減少しました。	
消費収支差額の部	
当年度消費支出超過額は34億8,100万円で、前年度繰越消費支出超過額2億5,000万円を加え、基本金取崩額1,500万円を差し引くと、翌年度繰越消費支出超過額は37億1,500万円でした。帰属収支差額（帰属収入合計・消費支出の部合計）は7億700万円で、予算に対して4億6,100万円増加しました。	

表2 平成21年度 主な施設設備の事業

区 分	事業内容
大学院・大学・短期大学部	九州大学旧田島寮跡地取得 校舎新築工事第2期工事（売店） 中央本館研究室空調機更新 音楽・体育館照明器具取替 同窓会会館へ改修工事 東2号館売店解体工事及び跡地整備工事 流通科学部パソコン更新 情報処理センター演習用パソコンを西1号館6階に増設 栄養教育実習室パソコン更新 図書館システム更新 アニマルセンターオートクレープ取替 車輛購入
女子中学校・高等学校	新校舎建築設計監理料及び建築工事費 隣接地取得に伴う整備工事
三陽中学校・高等学校	教務用サーバー更新 ヨット新艇購入
志岐幼稚園	遊戯室改修工事 北側園舎屋根葺替え工事 北側園舎屋根庇取付工事 屋外遊具取替工事 スクールバス買い替え

表1 平成21年度 資金収支計算書
平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位/円)

科 目	収入の部		
	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	5,328,950,000	5,372,697,565	△43,747,565
手数料収入	158,020,000	179,668,060	△21,648,060
寄付金収入	19,070,000	22,148,451	△3,078,451
補助金収入	1,185,560,000	1,340,389,240	△154,829,240
(国庫補助金収入)	(453,130,000)	(538,478,000)	(△85,348,000)
(地方公共団体補助金収入)	(729,230,000)	(798,711,240)	(△69,481,240)
(学術研究振興資金収入)	(3,200,000)	(3,200,000)	(0)
資産運用収入	135,340,000	207,718,917	△72,378,917
資産売却収入	0	1,072,243,848	△1,072,243,848
事業収入	239,020,000	247,381,736	△8,361,736
雑収入	168,580,000	177,884,992	△9,304,992
前受金収入	1,100,450,000	1,202,104,100	△101,654,100
その他の収入	4,644,280,000	4,560,080,867	84,199,133
資金収入調整勘定	△1,340,790,000	△1,360,924,011	20,134,011
前年度繰越支払資金	1,969,870,000	1,969,879,368	△9,368
収入の部合計	13,608,350,000	14,991,273,133	△1,382,923,133

(単位/円)

科 目	支出の部		
	予 算	決 算	差 異
人件費支出	4,021,870,000	3,989,065,911	32,804,089
教育研究経費支出	1,590,430,000	1,537,017,270	53,412,730
管理経費支出	494,600,000	462,287,348	32,312,652
借入金等利息支出	22,670,000	22,653,720	16,280
借入金等返済支出	140,210,000	140,210,000	0
施設関係支出	5,049,690,000	5,031,406,300	18,283,700
設備関係支出	222,470,000	195,383,831	27,086,169
資産運用支出	643,980,000	1,093,474,978	△449,494,978
その他の支出	290,940,000	295,847,271	△4,907,271
(550,000)			
[予備費]	17,950,000		17,950,000
資金支出調整勘定	△293,640,000	△410,076,672	116,436,672
次年度繰越支払資金	1,407,180,000	2,634,003,176	△1,226,823,176
支出の部合計	13,608,350,000	14,991,273,133	△1,382,923,133

表 4

貸借対照表

平成22年3月31日

(単位/円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(Δ)
固定資産	35,659,709,402	35,360,437,367	299,272,035
有形固定資産	25,982,127,931	21,603,470,085	4,378,657,846
土地	11,081,022,730	8,208,537,230	2,872,485,500
建物	10,327,413,703	10,545,712,652	△218,298,949
構築物	506,866,238	466,006,228	40,860,010
教育研究用機器備品	596,198,528	607,279,084	△11,080,556
その他の機器備品	113,528,441	119,254,827	△5,726,386
輸送機械	1,428,300,484	1,411,890,550	16,409,934
建設仮勘定	10,438,307	9,424,524	1,013,783
その他の固定資産	1,918,359,500	235,365,000	1,682,994,500
電話加入権	9,677,581,471	13,756,967,272	△4,079,385,801
有価証券	2,812,385	2,879,644	△67,259
事業用資産	2,486,283,276	2,911,468,818	△425,185,542
預金	20,000,000	20,000,000	0
長期積立金	39,271,630	39,239,390	32,240
長期貸付金	440,100	440,100	0
教育研究用ソフトウェア	15,000,000	10,000,000	5,000,000
大学短大校舎改築引当特定資産	18,869,760	0	18,869,760
女子中高校舎改築引当特定資産	1,800,000,000	1,500,000,000	300,000,000
第3号基本金引当特定資産	200,000,000	1,448,325,000	△1,248,325,000
第3号基本金引当特定資産	835,241,417	752,176,417	83,065,000
退職給付引当特定資産	1,388,900,000	1,390,000,000	△1,100,000
施設設備引当特定資産	2,870,762,903	5,682,437,903	△2,811,675,000
流動資産	3,205,186,075	2,794,535,077	410,650,998
現金・預金	2,634,003,176	1,969,879,368	664,123,808
有価証券	100,011,516	298,761,504	△198,749,988
定期収入金	294,109,180	294,109,180	0
短期貸付金	171,460,111	228,980,867	△57,520,756
短期貸付金	1,000,000	2,000,000	△1,000,000
短期貸付金	4,035,659	804,158	3,231,501
短期貸付金	566,433	0	566,433
資産の部合計	38,864,895,477	38,154,972,444	709,923,033
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(Δ)
固定負債	2,279,825,712	2,337,425,495	△57,599,783
長期借入金	806,300,000	946,510,000	△140,210,000
退職給付引当金	1,398,870,712	1,390,915,495	7,955,217
長期未払金	74,655,000	0	74,655,000
流動負債	1,828,202,132	1,768,189,597	60,012,535
短期借入金	140,210,000	140,210,000	0
短期未払金	334,617,514	283,914,675	50,702,839
短期未払金	1,202,104,100	1,189,463,900	12,640,200
短期未払金	151,270,518	154,601,022	△3,330,504
負債の部合計	4,108,027,844	4,105,615,092	2,412,752
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(Δ)
第1号基本金	35,227,081,454	30,188,884,678	5,038,196,776
第2号基本金	2,000,000,000	2,948,325,000	△948,325,000
第3号基本金	835,241,417	752,176,417	83,065,000
第4号基本金	410,000,000	410,000,000	0
基本金の部合計	38,472,322,871	34,299,386,095	4,172,936,776
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減(Δ)
翌年度繰越消費支出超過額	3,715,455,238	250,028,743	3,465,426,495
消費収支差額の部合計	△3,715,455,238	△250,028,743	△3,465,426,495
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減(Δ)
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	38,864,895,477	38,154,972,444	709,923,033

注記事項

1. 重要な会計方針

(1)引当金の計上基準

徴収不能引当金

債権の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上することとしている。

退職給付引当金

退職金の支給に備えるため、法人本部・大学・短期大学部は、期末要支給額1,340,312,000円を基として、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入調整額を加減した金額の100%を計上している。

高等学校以下は、期末要支給額1,226,129,000円から私学退職金団体からの交付金相当額を控除した金額の100%を計上している。

(2)その他の重要な会計方針

有価証券の評価基準及び評価方法
移動平均法に基づく原価法である。

外貨建資産の換算基準

外貨建長期金銭債権については、取得時の為替相場により円換算している。

預り金その他の経過項目に係る収支の表示方法
預り金に係る収入と支出は、相殺して表示している。

2. 重要な会計方針の変更等について

会計処理の変更について
リース取引に関する会計処理について(通

知)「(20高私参第2号)の発出に伴い、当会計年度から当該通知によっている。なお、この変更により、従来と同一の方法によった場合と比較して教育研究用機器備品が48,646,080円、未払金(長期未払金を含む)が48,646,080円及び基本金組入額が12,161,520円増加し、当年度消費支出超過額が12,161,520円増加している。

「ソフトウェアに関する会計処理について(通知)「(20高私参第3号)の発出に伴い、当会計年度から当該通知によっている。なお、この変更により、従来と同一の方法によった場合と比較して教育研究用ソフトウェアが18,869,760円、未払金(長期未払金を含む)が50,893,920円及び基本金組入額が4,717,440円増加し、当年度消費支出超過額が36,741,600円増加している。

3. 減価償却額の累計額の合計額

10,366,899,827円

4. 徴収不能引当金の合計額

0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額

土地 1,169,231,007円

建物 463,569,365円

計 1,632,800,372円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額

1,052,875,840円

「貸借対照表」

表 4

1 資産の部合計

総額は38億864万4000円で、前年度と比較して7億900万円(19.9%)増加しました。

①固定資産 土地は取得により増加、建物は女子中高校舎の一部解体及び減価償却により減少、構築物は取得により増加、教育研究用機器備品その他の機器備品は減価償却により減少、車輛、図書は取得により増加しました。建設仮勘定は女子高校の校舎建設設計監理料や新築工事により増加、大学・短大校舎改築引当特定資産は組入れにより増加、女子中高校舎改築引当特定資産は校舎新築工事への充当により減少、退職給付引当特定資産は施設設備引当特定資産は取崩により減少しました。

②流動資産 現金・預金は増加、有価証券は売却により減少、未収入金は国庫補助金と退職金財団交付金が減少しました。

2 負債の部合計

総額は4億108万9724円で、前年度と比較して200万円増加しました。

①固定負債 長期借入金が1億4000万円減少し、リース取引の会計処理の変更に伴い長期未払金が増加しました。

②流動負債 未払金が経常経費関係で増加、前受金も増加しました。

3 基本金の部合計

第1号基本金は土地・建物・構築物の取得等によ

4 消費収支差額の部

翌年度繰越消費支出超過額は37億1500万円でした。

資産の部合計38億864万4000円から負債の部合計4億108万9724円を差し引いた純資産額は347億5600万円、前年度より7億700万円増加しました。

以上が平成21年度決算概要ですが、大学・短大のグラウンド用地確保のため、九州大学旧田島寮跡地を取得、女子中高の校舎新築工事と多額の施設投資により、当年度消費支出超過となりました。帰属収支差額(帰属収入合計消費支出の部合計は7億700万円(9.3%)、第4次中期総合計画に掲げた最終年度の帰属収支比率10.0%に達していません。(全国の同系法人平成20年度決算数値△2.7%)

また、本年度は中村学園の5つの基金に対して、学園各学校の卒業生、学校教職員、OB、事業部職員、OBの多くの方から寄付金を賜りました。厚く感謝申し上げます。今後もさらなる財政安定のため、消費収支の均衡を図り、学生の満足度を高めるため、教育研究の充実と財政の健全化に努めてまいりますので、皆様方のご協力とご理解を賜りますようお願いいたします。

表 3

平成21年度 消費収支計算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位/円)

消費収入の部			
科目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	5,328,950,000	5,372,697,565	△43,747,565
手数料	158,020,000	179,668,060	△21,648,060
寄付金	28,870,000	35,006,881	△6,136,881
(現物寄付金)	(9,800,000)	(12,858,430)	(△3,058,430)
補助金	1,185,560,000	1,340,389,240	△154,829,240
(国庫補助金)	(453,130,000)	(538,478,000)	(△85,348,000)
(地方公共団体補助金)	(729,230,000)	(798,711,240)	(△69,481,240)
(学術研究振興資金)	(3,200,000)	(3,200,000)	(0)
資産運用収入	135,340,000	207,718,917	△72,378,917
資産売却差額	0	19,664,151	△19,664,151
事業収入	239,020,000	247,381,736	△8,361,736
雑収入	169,190,000	178,497,092	△9,307,092
帰属収入合計	7,244,950,000	7,581,023,642	△336,073,642
基本金組入額合計	△4,336,840,000	△4,188,769,390	△148,070,610
消費収入の部合計	2,908,110,000	3,392,254,252	△484,144,252

(単位/円)

消費支出の部			
科目	予 算	決 算	差 異
人件費	4,030,850,000	3,997,633,228	33,216,772
(退職給付引当金繰入額)	(105,140,000)	(104,203,617)	(936,383)
教育研究経費	2,314,950,000	2,261,466,736	53,483,264
(減価償却額)	(724,520,000)	(724,449,466)	(70,534)
管理経費	577,100,000	544,689,380	32,410,620
(減価償却額)	(82,500,000)	(82,402,032)	(97,968)
借入金等利息	22,670,000	22,653,720	16,280
資産処分差額	35,370,000	47,070,297	△11,700,297
(140,000)			
[予備費]	18,360,000		18,360,000
消費支出の部合計	6,999,300,000	6,873,513,361	125,786,639
当年度消費支出超過額	4,091,190,000	3,481,259,109	
前年度繰越消費支出超過額	250,030,000	250,028,743	
基本金取崩額	15,670,000	15,832,614	
翌年度繰越消費支出超過額	4,325,550,000	3,715,455,238	



学校法人中村学園

平成22年度 予算

平成22年度予算は、平成22年3月18日開催の評議員会及び3月23日開催の理事会において承認されました。平成22年度の予算編成は、第4次中期総合計画（平成21年度～平成25年度の2年目として、中期総合計画に示す学校運営計画、学生目標、教職員計画の達成に重点をおきました。

私立学校を取り巻く環境は、少子高齢化、国立大学の独立行政法人化、長びく不況等益々厳しくなる中、学生生徒等の確保が年々厳しい状況にあります。これらの環境の中で、財政基盤の安定を図る為、学生生徒等の満足度を充分配慮することにも、建学の精神に基づく教育と研究の充実を図り、学生生徒等の確保と支出の効率化を図る予算を編成しました。

「大学院・大学・短期大学部」

○大学・大学院

大学全入時代を迎え、「選ばれ続ける高等教育機関」として存続するための基本方針

・建学の精神を根幹とする全学的F/D組織の更なる整備と、F/D推進による学生満足度の高い教育を提供することにも、学習成果（learning outcome）の高い社会的評価の獲得

・自己点検・評価に基づく教育環境の更なる整備のための教職員と事務職員協働PDC Aサイクルの展開

・教育・研究の一元化と研究活性化のためのプロジェクト研究の推進と公的・民間外部資金の獲得

・地域・大学間連携ネットワークの構築

・国際交流事業の推進

○短期大学部

全国の短期大学の約7割が定員割れしている現状を鑑み、「選ばれ続ける中村学園大学短期大学部」を目指して

・教養教育、社会性教育、専門教育、職業教育の有機的連携によるカリキュラムの一層の整備を行い、社会が必要とする短期大学士の養成を図る。

・高大連携に伴う入学前教育、初年次教育、補完教育の一層の充実を図る。

・三学科共通開講科目の実施を図る。

・平成21年度の短期大学基準協会による第三者評価に基づく自己点検・評価を実施する。

（収入の部）学生納付金収入は前年度予算から減額を見込み計上、手数料収入は入学検定料収入を前年度と同数で見込みました。寄付金は企業からの研究助成金を見込み計上、補助金収入は、経常費補助金、学生支援G.P.補助金、子助成補助金を計上、事業収入は、寄附金収入、セミナーハウス利用料収入、栄養クリニック診療報酬及び中村学園事業部からの寄付金を計上、雑収入は退職金財団交付金収入を計上しました。

（支出の部）教育研究経費支出には、各研究者の基盤研究、学部ごとのプロジェクト研究、健康増進センター（栄養クリニック）、薬膳科学研究所、発達支援センター、流通科学研究所の研究、海外提携大学への学生派遣、学生の就職活動支援強化（卒業生との交流、大学院生、学部学生への奨学金の充実、教員免許更新講習、学生の出欠管理システム）平成23年度本格的導入の準備、田島グラウンドの関係費用を計上しました。

管理経費支出には、学生食堂（食育館）における学生の健全で豊かな食生活を育むための援助、中国北京栄養大学（仮称）設立協力に関する支援、学生募集の強化、別府東住宅外装改修工事を計上しました。

施設設備関係支出（表2）には、田島グラウンド整備工事などを計上しました。

「女子中学校・女子高等学校」

高等学校創立50周年を機に、建学の精神の理解をより深い愛校心を育てると共に、教育内容の向上を図り、生徒保護者の満足度を高める教育を行う。

（収入の部）生徒納付金収入は前年度予算からの減少を見込み、補助金収入は生徒数の減少により減収を見込みました。また、新校舎建築資金として借入金、雑収入に私学教育振興会退職金交付金収入を計上、前受金収入は前年度から入学者数を減少見込みで計上しました。

（支出の部）教育研究経費支出には、教員の海外派遣研修、特進コースの進路指導強化、姉妹校交流、新校舎建築に伴う既存校舎及びハ

平成22年度 資金収支予算書
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位/千円)

収入の部			
科 目	22年度予算額	前年度予算額	増 減(△)
学生生徒等納付金収入	5,154,780	5,328,950	△174,170
手数料収入	155,660	158,020	△2,360
寄付金収入	7,630	19,070	△11,440
補助金収入	1,183,860	1,185,560	△1,700
資産運用収入	140,900	135,340	5,560
資産売却収入	204,500	0	204,500
事業収入	220,800	239,020	△18,220
雑収入	144,300	168,580	△24,280
借入金等収入	700,000	0	700,000
前受金収入	1,103,740	1,100,450	3,290
その他収入	1,353,310	4,644,280	△3,290,970
資金収支調整勘定	△1,195,120	△1,340,790	145,670
前年度繰越支払資金	1,407,180	1,969,870	△562,690
収入の部合計	10,581,540	13,608,350	△3,026,810

(単位/千円)

支出の部			
科 目	22年度予算額	前年度予算額	増 減(△)
人件費支出	3,969,170	4,021,870	△52,700
教育研究経費支出	1,273,970	1,590,430	△316,460
管理経費支出	513,540	494,600	18,940
借入金等利息支出	28,730	22,670	6,060
借入金等返済支出	210,210	140,210	70,000
施設関係支出	2,860,570	5,049,140	△2,188,570
設備関係支出	363,430	222,470	140,960
資産運用支出	259,030	643,980	△384,950
その他支出	242,220	290,940	△48,720
（予備費）	18,500	18,500	0
資金支出調整勘定	△205,460	△293,640	88,180
次年度繰越支払資金	1,047,630	1,407,180	△359,550
支出の部合計	10,581,540	13,608,350	△3,026,810

表2 平成22年度 主な施設設備等の事業

区 分	事業内容
大学院・大学・短期大学部	田島グラウンド整備 ①野球場 ②サッカー兼ラグロクロス場（人工芝） ③弓道場 ④クラブハウス ⑤側溝集水枡 ⑥ランニングロード ⑦防球ネット・夜間照明 西5号館空調機更新 出欠管理システム設備工事
女子中学校・高等学校	新校舎建設費 ①設計監理料及び建築工事 ②新校舎と体育館連絡通路設置工事 ③新講堂屋上に太陽光発電設備工事 ④新校舎内自主テレビ放送設備工事 ⑤新校舎各教室ガラス黒板設置工事 ⑥新校舎機器備品 （生徒用机・椅子、教職員用机・椅子、特別教室実験台・実験器具） 体育館ピロティ及びピロティ東側駐輪場改修工事 テニスコート東側駐輪場を駐車場へ改修工事
三陽中学校・高等学校	中学校給食に伴う工事等 ①ランチルーム設置工事 ②ランチルームテーブル・イス ③ランチ用配膳車、収納棚・ショーケース スクールバス買い替え（1台）
あさひ幼稚園	ランチルームテーブル・イス 園児・大人兼用自動体外式除細動器
壱岐幼稚園	給食室空調設備設置工事 園児・大人兼用自動体外式除細動器

表1

ス車庫の解体・新校舎への転居費用を計上しました。また、特技奨学生・育英奨学生への奨学金の充実を図ります。

管理経費支出には、高等学校創立50周年記念行事(記念式典・記念品・祝賀会・記念誌製作など)、新校舎にかかる生徒食堂の食器、校舎内の消耗品を計上しました。

施設設備関係支出(表2)には、新校舎建築費等を計上しました。

「三陽中学校・三陽高等学校」

中学生の共学志向が高まり、男子校・女子校が共学化を模索・実行する流れが続いている。これらの中で、三陽が競争に勝ち残っていく道は、男子校の特色を生かした教育内容の充実であり、建学の精神と校訓を根幹に教育目標を掲げ、三陽独自の風土を創り上げていくことである。

(収入の部)生徒納付金収入及び補助金収入は生徒数の増加により増収を見込み計上、雑収入に私学教育振興会退職金交付金収入を計上しました。

(支出の部)教育研究経費支出には、教員の資質向上を図る研修費を計上し、また、育英奨学金は、中学生のガンバリ入試に伴う生徒数増により、前年比増で計上しました。

管理経費支出には、中学1年生からの完全給食実施に伴う、給食用食器、給食食料費、給食委託料を計上しました。

施設設備関係支出(表2)には、ランチルーム設置費等を計上しました。

「資金収支予算」

表1

(収入の部)学生生徒等納付金収入は51億5,400万円で、前年度に対して1億7,400万円の増収、補助金は11億8,300万円で、前年度に対して100万円の減収、資産運用収入は1億4,000万円で計上しました。事業収入(寄宿舍室料、セミナーハウス利用料等)は2億2,000万円で、前年度に対して1,800万円の増収、前受金収入は11億3,000万円で、前年度に対して300万円の増収で計上しました。大学・短大では、田島グラウンド整備のため、施設設備引当特定資産からの繰入収入を計上、女子高校では、校舎新築工事のため、借入金7億円と校舎改築引当特定資産からの繰入収入を計上しました。当年度収入合計は

91億7,400万円で、これに前年度繰越支払資金14億7,000万円を加えた収入の部合計は105億8,100万円となり、前年度予算に対して30億2,600万円の減収となります。

(支出の部)人件費は39億6,900万円で、前年度に対して2,200万円の減少で計上しました。教育研究経費支出は12億7,300万円で、前年度に対して3億1,600万円の減少、管理経費支出は5億1,300万円で、前年度に対して1,800万円の増加で計上しました。施設設備関係は28億6,000万円で、大学・短大の田島グラウンド整備、女子高校校舎新築工事等を含め、表2のとおり充実を図ります。資産運用支出は第2号基本金組入れに1億円、第3号基本金引当資産組入れに7,500万円、引当特定資産に8,400万円を計上しました。当年度支出合計は95億3,300万円で、前年度予算に対して26億6,700万円の減少となり、当年度支出合計に次年度繰越支払資金10億4,700万円を加えた支出の部合計は105億8,100万円となります。

「消費収支予算」

表3

(消費収入の部)帰属収入合計は70億1,500万円で、前年度に対して2億2,900万円の減少を見込みました。基本金組入額合計13億6,600万円を控除した消費収入の部合計は56億4,900万円で、消費支出に充当可能な収入です。

(消費支出の部)人件費は39億8,100万円で、前年度に対して4,900万円の減少、教育研究経費は20億2,600万円で、前年度に対して2億8,800万円の減少で計上しました。減価償却額は8億3,300万円で、前年度に対して2,600万円増加で計上しました。消費支出の部合計は68億3,000万円で、前年度に対して1億9,500万円減少となります。当年度消費支出超過額は11億5,400万円で、これに前年度からの繰越消費支出超過額43億2,500万円を加え基本金取崩額を差し引くと、翌年度繰越消費支出超過額は54億7,900万円となります。

以上が平成22年度の予算概要ですが、学生生徒等の確保が益々厳しくなる中での財政基盤の安定を図るために、適正且つ厳正な予算執行に努めます。

平成22年度 消費収支予算書の内訳

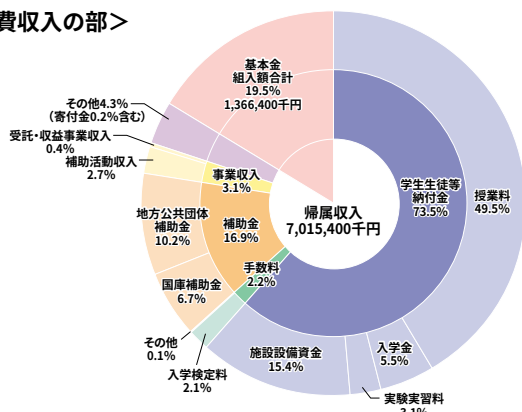
表3

平成22年度 消費収支予算書

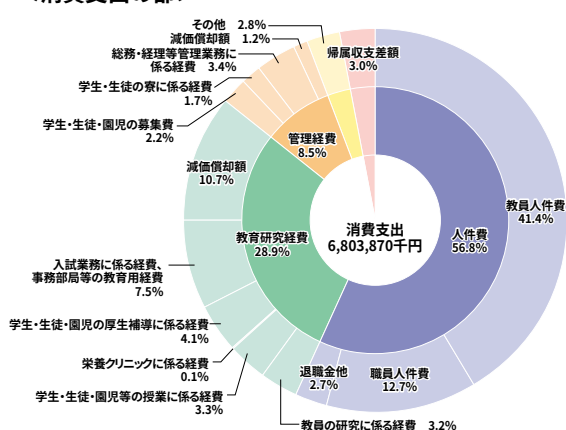
平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位/千円)

<消費収入の部>



<消費支出の部>



消費収入の部			
科 目	22年度予算額	前年度予算額	増 減(△)
学 生 生 徒 等 納 付 金	5,154,780	5,328,950	△174,170
数 料	155,660	158,020	△2,360
寄 付 金	11,740	28,870	△17,130
補 助 金	1,183,860	1,185,560	△1,700
資 産 運 用 収 入	140,900	135,340	5,560
事 業 収 入	220,800	239,020	△18,220
雑 収 入	147,660	169,190	△21,530
帰 属 収 入 合 計	7,015,400	7,244,950	△229,550
基 本 金 組 入 額 合 計	△1,366,400	△4,336,840	2,970,440
消 費 収 入 の 部 合 計	5,649,000	2,908,110	2,740,890

(単位/千円)

消費支出の部			
科 目	22年度予算額	前年度予算額	増 減(△)
人 件 費	3,981,530	4,030,850	△49,320
(退職給与引当金繰入額)	(69,610)	(105,140)	(△35,530)
教 育 研 究 経 費	2,026,220	2,314,940	△288,720
(減価償却額)	(752,250)	(724,510)	(27,740)
管 理 経 費	594,440	577,040	17,400
(減価償却額)	(80,900)	(82,440)	(△1,540)
借 入 金 等 利 息	28,730	22,670	6,060
資 産 処 分 差 額	154,450	35,300	119,150
(予 備 費)	18,500	18,500	0
消 費 支 出 の 部 合 計	6,803,870	6,999,300	△195,430
当年度消費支出超過額	1,154,870	4,091,190	
前年度繰越消費支出超過額	4,325,550	250,030	
基 本 金 取 崩 額	1,320	15,670	
翌年度繰越消費支出超過額	5,479,100	4,325,550	

中村学園田島グラウンドの治水対策について

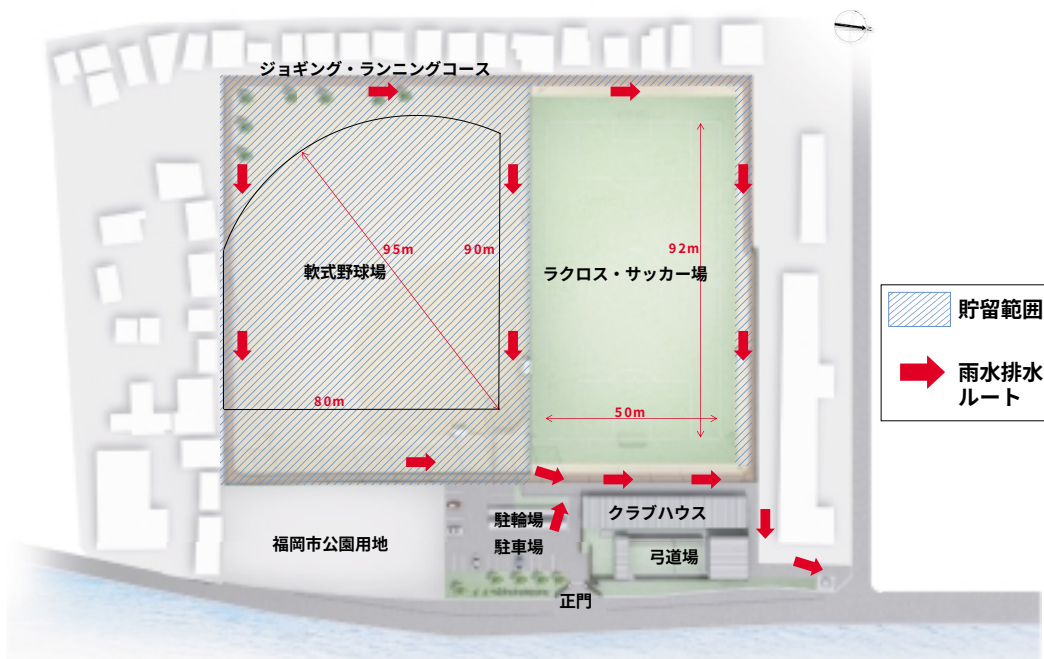
かつての九州大学田島寮の跡地に新しく整備中の「中村学園田島グラウンド」。南側に軟式野球場1面、北側にラクロス兼サッカー場1面が整備され、それを取り巻くように500mのジョギング・ランニングコースが設置される予定です。また、正門そばには、管理人室、更衣室、シャワー室のあるクラブハウス、5人行射ができる弓道場も新設され、100台が駐輪できる駐輪場やマイクロバスも駐車可能な駐車場も設けられます。

10月1日に完成予定の同グラウンドの大きな特徴は、大雨時に調整池の役割を果たすこと。昨年7月の豪雨で田島地区で多数の浸水被害が出たこともあり、地域住民及び福岡市下水道局から洪水抑制に協力して

ほしいとの依頼に応えた形となりました。普段は水はけのいいグラウンドですが、大雨で樋井川の水位が上がると排水口に作られた弁が閉じて雨水を貯める仕組み。軟式野球場と周囲のジョギングコースが深さ20センチほどの調整池となり、1,000㎡の雨水を貯められる構造になっています。

こうした取り組みは、樋井川流域治水対策市民会議及びNPO法人南畑ダム貯水する会、治水対策に詳しい福岡大学工学部の渡辺亮一准教授からもご賛同をいただきました。

そのほか、光が拡散しないよう光の方向を制限した光害防止対策型の夜間照明を設置し、地域の皆様の迷惑にならないように努めています。



各メディアでも
とりあげられています！

TNC テレビ西日本 「ハチナビプラス」(平成22年5月28日放送)
RKB 毎日放送 「今日感テレビ」(平成22年6月1日放送)
FBS 福岡放送 「めんたいワイド」(平成22年7月13日放送)



中村量一理事長、藤本淳学長ほか
関係者が出席し厳粛に行われました。



苅初(かりそめ)の儀

中村学園田島グラウンド
起工式が
行われました

平成22年5月7日(金)

付属幼稚園 だより



「なんだろう？」

中村学園大学付属あさひ幼稚園 主任教諭
山本 美香

ここに1枚の写真があります。これは年長組の子どもたちが描いた“等身大”の自分の絵です。題して『もう一人の自分』。写真で見ると小さく見えますが、実際には3mもの高さまで貼られた壁いっぱいの絵の集合体です。

ある日、誰もいないその空間(「プレイアリーナ」と呼んでいます)に年少の男の子が一人ぼつんとたたずんでいました。仕切り棚に頬杖をついて、自分の背よりも何倍も高く貼られたその絵を飽くことなくゆっくりとのんびりと見上げているのです。その後ろ姿を見てみると、「一体、彼はいま何を感じ、いま何を考えているんだろう…」、そう思わずにはいられませんでした。

「なんだろう?」「大きいな!」「ともだちがいっぱいだ!!」、彼が何を思い、考えていたのか、もちろんははっきりしたことはわかりませんが、その等身大の絵が彼に何かを訴えていたこと、そして彼の心を動かしたことに違いありません。彼の隣には、カプラ(フランス製の積み木)を使った年長児の手による巨大なタワーがそびえ、その周りには飯事(ままごと)道具や積み木、パズルなど遊ぶものはたくさんありました。しかし、彼はその玩具で遊ぶことなく、ただただ絵だけをじ〜っと眺めて、最後には微笑みながら保育室に戻って行ったのです。

「様々な環境が子どもたちに影響を与える…」子どもたちは、日々その環境を通して遊び込み、また多くを学んで育っていきます。子どもたちの育ちにとって必要な環境とは何か?改めて私たち保育者も、日々「子どもにとっての環境」の意味について学び続ける姿勢を忘れてはならないと考えさせられた瞬間でした。

競技を重ねるごとに
チームワークも深まりました。

曙寮運動会



中村学園大学の学生寮「曙寮」で、学生企画の運動会が行われました。当日の様子を、寮生の松坂さんがレポートしてくれました。

私たち曙寮生は平成22年5月8日に本学体育館にて運動会を行いました。

今回が初めての試みだったため不安もありましたが、在寮生122名中、約80名という多数の参加もあり、大変充実したものになりました。北棟と南棟からなる曙寮なので、棟対抗で競技を行いました。

競技内容は、5人6脚、借り物競走、大縄跳び、風船割りやりリレーです。借り物競走は、「大分県出身の人を3人集めて」、「自分と違う血液型の人を1人ずつ集めて」といった“お題”に沿って行われました。中には寮監さんや寮母さんが参加する“お題”もあり、曙寮生の父と母として、競技に参加する場面もありました。競技を重ねるごとに、各棟のチームワークも深まり、大縄跳びでは連続で80回を超える素晴らしい記録をたたき出すチームもありました。

結果は645点对790点で北棟の勝利となりました。優勝チームには、手作りの賞状とメダルと共にお菓子やジュースを贈呈しました。他にも特別賞として、MVPやユーモア賞、応援賞があり

ました。また参加者全員に、参加賞と寮母さんから手作りのおいなりさんとゆで卵の差し入れがありました。

その日の夜、参加賞として配られたお菓子やジュースを持ち寄り、各棟で打ち上げが行われ、1~4年生が仲良く話に花を咲かせていました。今後もこのような交流会を取り入れ、さらに親睦を深めていきたいと思います。

人間発達学部 3年 松坂久美子



大学オリジナルグッズの販売が始まりました



平成22年5月25日より、丸善キャンパスショップ中村学園大学にて、大学オリジナルグッズ(第一弾)の販売が始まりました。

今回の販売アイテムはペンセット(ボールペン、シャープペンシル、蛍光ペン)と、クリアフォルダです。初めての学園グッズ販売ということもあり、初日から手に取る学生の姿が多く見受けられました。今後、このほかにも学園グッズの製作・販売を進めていく予定です。

女子プロボクサー 黒木優子さん 中国ライトフライ級3位に 見事勝利！



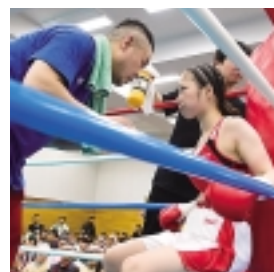
5月23日(日)、アクション福岡で、短期大学部食物栄養学科2年生黒木優子さんのプロ5戦目が行われました。対戦相手は、中国ライトフライ級3位のリウ・ダ・リン選手。負けず嫌いの黒木さんらしい攻め続けた試合運びで、見事勝利！体力、精神面ともにますます磨きのかかる黒木さんに、これからも大注目です。

試合前の時点で2勝2敗の黒木さんにとって、プロ5戦目となる今試合は、絶対に負けられない試合。あと2勝すれば、現在のランクC級からB級に上がることができるのです。

試合1ヶ月前から朝練を開始。パワーとスタミナをつけるため、朝6時から7時半まで中央区の福岡市動物園の階段を使って足腰を鍛え、夕方の練習ではサンドバックで3分間の連打ダッシュや、本格的に対戦相手を想定した練習のくり返しだったそうです。対戦相手のリウ・ダ・リン選手は、足を使ってよく動く黒木さんと同タイプのボクサー。「同じ様なタイプはやりやすい。自分のボクシングを貫きます」と黒木さん。

実際の試合では、「1ラウンドでは、相手の様子を伺っていました。会長からは、『行け！』と言われていたのですが、相手の出方を見てついつい慎重になっていました。でも、左ストレートを繰り出すと相手が明らかに嫌がる様子で、その瞬間『いける』と思いました」と黒木さんは冷静に試合を振り返ります。その後2ラウンド、3ラウンドと、相手は最初攻めるものの、その後下がってしまい黒木さんが詰める体制に。「相手の方が背が高いので手も長く、体重も少し重いのですが、途中全く感じませんでした」。

「追い込むまでは100%の出来。でもそこから詰めるのが40%。逃がさないで連打をイメージして、もっと詰める練習をしておくべきでした」と話す黒木さんの心は、もうすでに10月17日久留米で行われる次の試合に向かっていきます。ジム会長の関博之さん譲りの美しいフォームと軽快な動きで、専門家の間でも注目の高い黒木さん。『世界チャンピオン』という大きな夢を目指して頑張れ！みんなが応援しています。



それだけ試合に集中し、有利な状況だったのでしょう。

そして、4ラウンド目、今試合一番のパンチがクリーンヒット！「試合前に、会長の後輩の監督さんに教えていただいたボディを打つと見せて頭部に打つパンチをふと思いついて、それが見事に命中した」と黒木さん。試合途中では、相手にパンチをもらっても冷静に笑顔を見せ続けるなど、心理面でも相手にプレッシャーを与え続けていたようです。



公開講座のお知らせ

平成22年度【第37回】

受講料
無料

A
コース

暮らしに活かす 食の知識と 話し方の知恵

〈流通科学部・キャリア開発学科〉

10/2土 定員/50名

開講式(挨拶) 学長/藤本 淳
●13:00~13:10(10分) 西4号館5階 4505講義室

あなたの話は 伝わっていますか?

ーコミュニケーションの阻害要因、促進要素ー

●13:10~14:30(80分) 西4号館5階 4505講義室

講師 短期大学部キャリア開発学科
准教授 本山 和子(コミュニケーション学)

食の国際化と 地産地消

●14:45~16:15(90分) 西4号館5階 4505講義室

講師 流通科学部
教授 甲斐 諭(食品流通学)

B
コース

揺れる 食の世界Ⅲ

〈栄養科学部・食物栄養学科〉

10/9土 定員/100名

「油」と「脂」と 私たちの食事

●13:00~14:30(90分) 西1号館10階 大講義室

講師 栄養科学部
准教授 岩本 昌子(脂質栄養学・給食経営管理)

「食事バランスガイド」の 活用と献立の工夫

●14:45~16:15(90分) 中央南館1階 109栄養・調理学実習室

講師 短期大学部食物栄養学科
講師 吉田 弘子(栄養指導)

C
コース

シニア世代の 新教養

〈人間発達学部・幼児保育学科〉

10/16土 定員/100名

こころとからだの活性化 ーリラクセーションの体験ー

●13:00~14:30(90分) 音楽館2階多目的ホール

講師 人間発達学部
教授 昇地 勝人(心理学)

音楽の世界あれこれ ーピアノでクラシック音楽を楽しむー

●14:45~16:15(90分) 音楽館2階 多目的ホール

講師 人間発達学部
教授 福田 伸光(音楽)

ご参加をお待ちしています!

今年度で37回目を迎える公開講座を開催いたします。いずれのコースも、本学の教育研究の基本である「学問と生活の融合」を重んじた充実した内容にしております。多数の皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



昨年度の様子

●お申し込み方法について<受講料無料>

- 『官製はがき』または『Eメール』にて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、受講希望コースを明記のうえ、右記の期間にお申し込みください。

※電話・FAXでの申し込み受付はいたしておりません。

●定員になり次第、締め切らせていただきます。

※受講申込者からご提供いただく個人情報、受講票の発送、今後の公開講座開催に関する情報のご案内、公開講座の改善を目的とした統計資料を作成するためにのみ使用いたします。

お申し込み期間

Aコース 8月18日(水)~ 9月21日(火)
Bコース 8月18日(水)~ 9月28日(火)
Cコース 8月18日(水)~10月 5日(火)

●託児所のご利用について<利用料無料>

- 公開講座の各コース開催日には、学内に託児所(ベビーシッター会社への委託)を設けております。利用を希望される方は、直接下記の委託先へお電話にてお問い合わせください。

●委託先 (株)テクノコーポレーション ※(社)全国ベビーシッター協会正会員
〒812-0035 福岡市博多区中呉服町1-26 フリーダイヤル0120-8000-29

●申込期限 8月18日(水)~各コース開催日の3日前まで
※開催日当日の申込不可 ※受付時間 9:00~18:00(日・祝日は休み)

なお、不測の事故に対応するため委託先に保険に加入いたしており、保険適用範囲以内では補償されますが、大学当局は事故の責任を負わないことを申し添えます。

●お申し込み・お問い合わせ先

中村学園大学 学事課「公開講座」係
中村学園大学短期大学部

〒814-0198 福岡市城南区別府5丁目7番1号 TEL. (092) 851-2531(代)

●Eメール n-kouza@nakamura-u.ac.jp

●ホームページ <http://www.nakamura-u.ac.jp/>

学校法人中村学園 創立記念式典 挙行

平成22年5月14日、本学体育館にて、学校法人中村学園の創立記念式典が挙行されました。

式ではまず、学園祖中村ハル先生の生涯をつづったDVDが上映された後、中村量一学園長から講話がなされました。講話では中村ハル先生の思い出や、建学の精神等について触れられました。また、GPA優秀学生(※)の表彰も行われ、対象学生には藤本淳学長から表彰状と記念品が授与されました。



※GPA：本学は学業成績にGP(グレイド・ポイント)制を導入しています。学生の成績は(秀)・優・良・可・不可として評価されますが、この評価を優(特優)・秀・4点・優3点・良2点・可1点・不可0点に点数化してGPとし、各履修登録科目のGPにそれぞれその科目の単位数を乗じた値の合計を、全履修登録科目の合計単位数で除してGPA(グレイド・ポイント・アベレージ)を算出します。この数値で、1単位当たりどれだけ高い学習効果をあげたかが評価できます。

曙寮における宮崎県の 口蹄疫被害に対する募金活動

宮崎県内で発生した口蹄疫は、懸命の防疫対策にもかかわらず、発生以来拡大の一途をたどり、畜産農家等に甚大な被害を及ぼしています。

そこで、曙寮では5月中旬から6月中旬までの約1ヶ月間、募金箱を設置し募金活動を行いました。集まった募金は、畜産農家の方への励ましの手紙を添えて宮崎県に寄附しました。

被害に遭われた宮崎県の皆さまには、心よりお見舞い申しあげますとともに、一日も早い事態の収束をお祈りいたしております。



平成22年度 後援会地区連絡会のお知らせ

今年も在学生の保護者を対象として、本学を含め九州内の8地区で開催いたします。

連絡会では各学部・学科の教員はじめ担当職員が各地区へ出向き、本学の教育研究の近況報告と就職状況に関する全般的説明のほか、在学生の学修関係・学生生活・就職等に関するブースを設け、さまざまな相談に応じます。また希望者には、教員による個人面談が行われます。この機会に多くの保護者の皆様にご参加いただき、積極的に大学教職員や保護者の皆様同士で情報交換を行っていただければ幸いです。

詳細につきましては、本学・総務課までお問い合わせください。
TEL 09 2・851・2559 (直通)



昨年度の様子

【開催日及び会場】

開催日	地区	会場
9月18日(土)	福岡(本学)	西1号館10階 大講義室(予定)
9月25日(土)	北九州	小倉リーセントホテル TEL 093-581-5673
	長崎(佐世保)	セントラルホテル佐世保 TEL 0956-25-0001
	熊本	アークホテル熊本 TEL 096-351-2222
	鹿児島	ブルーウェーブイン鹿児島 TEL 099-224-3211
9月26日(日)	佐賀	マリトピア TEL 0952-23-0111
	宮崎	エムアールティ・ミック TEL 0985-22-1111
10月3日(日)	大分	トキハ会館 TEL 097-538-3111

【会 次 第】

時間	内容等
12:30~	◆受付開始 (受付終了は15:00となります。ご了承ください。)
12:45~13:00	◆DVD上映 学園祖中村ハルの生涯「原点。」
13:00~14:30	◆全体会 ①挨拶(後援会側代表) ②学園状況報告(大学側代表) ◆就職に関する連絡会 ①前年度の就職状況報告 ②今年度の就職状況・就職活動の流れ・系統の特徴について ③本学卒業生の就職体験談 DVD上映 ④保護者の就職支援について ⑤質疑応答
14:30~16:30	◆個別面談(希望者のみ) 1人10分程度 ※面談の待ち時間に学修関係や学生生活、就職等の相談コーナーもご利用いただけます。 面談終了後は流れ解散となります。
14:30~15:30	◆栄養科学部保護者対象説明会 「管理栄養士国家試験の現状と今後の対策について」終了後、個別面談となります。

名誉教授称号記授与式

平成22年6月3日、本学・中央本館大会議室において、名誉教授称号記の授与式が挙行されました。

今回、名誉教授の称号記が授与されたのは、短期大学部食物栄養学科で教授を務められた古賀民穂先生です。長きにわたり本学の教育・研究の向上に尽力された功績が高く評価され、名誉教授称号記授与の運びとなりました。

本学の教職員が一堂に会する中、中村理事長より称号記が授与されると、会場は拍手喝采。古賀教授の晴れ舞台を皆でお祝いしました。



新入生宿泊研修

平成22年4月から5月にかけて、新入生の宿泊研修が行われました。研修は各学科単位で1泊2泊にて行われ、研修場所には本学の施設「セミナーハウスほくさん」(佐賀市富士町北山湖畔)が利用されました。各学科の教学内容と絡めた研修やスポーツ大会などが行われ、また、仲間と寝食を共にし語り合うことで、互いの新たな一面を発見するなど、学生たちの成長の場となったようです。



短期大学部
キャリア開発
学科の宿泊研
修の様子

公開授業（授業参観）を実施

平成22年5月15日から21日にかけて、公開授業（授業参観）が実施されました。この取り組みは、専任教員が担当する科目を教職員が参観し、自身の授業に取り入りたい点や感想、アドバイスなどを相互に確認しあうことで、学生にとってより分かりやすい授業に改

留学生新入生歓迎会

平成22年5月13日、食育館において留学生新入生歓迎会が行われました。今回は、今年度から設立された留学生交流会（留学生会）の披露も兼ねており、関係教職員・留学生・日本人代表学生の約100名が出席しました。

はじめに、藤本学長が新入生への歓迎の辞を述べた後、留学生交流会を代表して王さんから、留学生交流会設立の趣旨ならびに関係教職員へのお礼の挨拶がなされました。続いて、日本人学生を代表して合同学友自治会会長の久富さんから、ユーモアを交えた中国語で、留学生のみなさんに暖かいエールが送られました。

中村理事長の乾杯の発声により懇談が始まり、留学生と教職員、日本



人学生が食事やゲームを通して交流を深めました。

本学には新入生26名を含め、中国、台湾、韓国、ベトナムなどからの留学生75名が学んでいます。日本人学生とお互いにより刺激を与え合いながら充実した学生生活を送り、卒業後は世界で活躍できる人材となれるよう、願っています。

学生が発表

ファッションビジネス学会

平成22年6月26日、福岡市内で開催されたファッションビジネス学会西日本支部 役員会・総会において、短期大学部キャリア開発学科の手嶋准教授ゼミ所属の学生5



名が発表を行いました。発表内容は「大名に関する調査報告」

で、福岡のファッションの中心地である福岡市中央区大名について、成長の歴史や課題点の説明、新たな展開への提言がなされました。



管理栄養士国家試験 合格状況

第24回管理栄養士国家試験（平成22年3月21日実施）の合格者が、平成22年5月7日、厚生労働省より発表されました。本学栄養科学部では、平成21年度卒業生217名が受験し、そのうち203名が合格、合格率93・5%という結果でした。

なお、栄養士養成施設卒業生（既卒）を含む全受験者（25,047名）の試験結果は、合格者数8,058名、合格率32・2%でした。

教員の表彰

内閣府食品安全委員会 専門委員に再任



甲斐 諭 教授

平成22年4月1日、甲斐諭教授（大学・流通科学部）が内閣府

食品安全委員会専門委員に再任されました（任期は平成22年4月1日から平成24年の3月31日）。

先進国では、食品の安全性を「リスクアナリシス」の手法によって担保しようとしています。リスクアナリシスはリスク評価、リスク管理、リスク・コミュニケーションの3要素から

構成されていますが、内閣府食品安全委員会はリスク評価を担当する役所であり、客観的立場から科学的知見に基づき、リスクの評価をしています。ちなみにリスク管理は厚生労働省と農林水産省が担当し、リスク・コミュニケーションは上記の3つの官公庁が担当しています。

モダンアート展・佳作賞

損保ジャパン美術財団奨励賞を受賞



古賀 和博 准教授

2010年第60回モダンアート展において、古賀和博准教授（短期大学部・幼児保育学科）がデザイン部門に出展した立体作品「Flexible Object 10 - 廻り」が、佳作賞・損保ジャ

パン美術財団奨励賞を受賞しました。モダンアート展は、東京都美術館の改修に伴う休館のため、来年度までは仙台・名古屋・京都・福岡での分散展となります。本作品は福岡市美術館に



て8月3日～8日まで開催の福岡展に展示されます。

制作のコンセプトは「変形のプロセスをデザインエレメントとし、素材の展開によって空間に構成される造形」で、廻り廻る事を螺旋構造で抽象的に表現されています。

研究助成・受託研究採択

内臓脂肪による抗凝固因子 プロテインS産生調節の解析



津田 博子 教授

〈研究者〉津田 博子 教授
（大学・栄養科学部）
助成団体／株式会社シノテスト
助成金名称／研究助成寄付金
助成金額／50万円

女性は男性に比べて動静脈血栓症の発症率が低い、閉経後には血栓症のリスクが高まってくる。一方、閉経後には内臓脂肪型肥満を背景としてインスリン抵抗性、高血圧、脂質異常症を合併するメタボリックシンドローム罹患者も増加する。抗凝固因子プロテインS産生はエストロゲンによって抑制され、血中プロテインS低下は静脈血栓症の危険因子となる。本研究では、閉経前後の肥満女性を対象にして、脂肪の体内分布、エストロゲンおよびプロテインSの血中動態と生活習慣との関連を検討し、閉経後女

性の易血栓性防止の方策を明らかにする。

総合的な学習の時間の カリキュラムマネジメントのための ワークショップ型研修パックの開発



田村 知子 講師

〈研究者〉田村 知子 講師
（大学・栄養科学部）
※共同研究
助成団体／財団法人バナソニック教育財団
助成金名称／先導的実践研究助成
助成金額／148万円

本研究は、カリキュラムマネジメントを学校に定着・促進させ、総合的な学習の時間の適切な効果的な実践を促進する方法論として、学校教職員をはじめとした多様な関係者の参画が可能なワークショップ型校内研修の内容・方法を開発し、研修マニュアルや研修用DVD教材を作成し、その普及を図るものである。特色は、田村によるカリキュラムマネジメント理論を踏まえた校内研修を開発する点、情報ネットワークを介して研究者及び現場教師が協同的に研修プログラムを作成した上で、実際に実施しその成果を取材・撮影して研修パックを開発する点にある。開発全般にわたって理論と実践を融合させ、極めて実用性の高い成果物が開発される。



教員の出版物

著者は、本学教員のみ記載、
() 内は出版社、発行年月



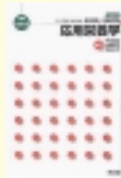
「倫理問題に 回答する」

小阪 康治
短期大学部・キャリア開発学科・教授 単著
(ナカニシヤ出版 平成22年2月)



「改訂応用栄養学」

津田 博子
大学・栄養科学部・教授 共著
(建帛社 平成22年2月)



「応用栄養学 改訂第3版」

津田 博子
大学・栄養科学部・教授 共著
(南江堂 平成22年4月)



「わかりやすい臨床 栄養学[第2版]」

今井 克己 大学・栄養科学部・教授
近江 雅代 大学・栄養科学部・准教授 共著
(三共出版 平成22年4月)



「食品安全・衛生学 実験」

古賀 信幸 大学・栄養科学部・教授
太田 千穂 大学・栄養科学部・助教 共著
(講談社サイエンティフィック 平成22年4月)



「大学生になったら 洋書を読もう」

津田 晶子
短期大学部・食物栄養学科・講師 共著
(アルク 平成22年4月)



「『ワークショップ型校内研修』 で学校が変わる学校を変える」

田村 知子
大学・栄養科学部・講師 共著
(教育開発研究所 平成22年5月)



「養護原理」

昇地 勝人
大学・人間発達学部・教授 共著
(ナカニシヤ出版 平成22年6月)



「改訂食品学 I・II」

橋本俊二郎
短期大学部・食物栄養学科・教授 共著
(建帛社 平成22年3月)

平成22年度科学研究費補助金交付決定

平成22年度科学研究費補助対象研究が次のとおり決定しました(平成21年度からの継続分は除く)。

なお、交付決定件数は、新規8件・継続11件の計19件でした。

◎基盤研究(C)

※平成22年度交付額(直接経費+間接経費)



【研究代表者】 三成 由美 教授(大学・栄養科学部)
【研究課題名】 保育所乳幼児の腸内環境改善のための日本型薬膳メニューの開発と評価
【平成22年度交付額】 1,950,000円



【研究代表者】 森山 耕成 教授(大学・栄養科学部)
【研究課題名】 新規開発「低エネルギーかさ高食」と味覚物質の便秘、肥満、糖尿病への治療応用
【平成22年度交付額】 1,040,000円



【研究代表者】 笠原 正洋 教授(大学・人間発達学部)
【研究課題名】 保育者用の児童虐待防止活動包括プログラムの開発
【平成22年度交付額】 1,170,000円



【研究代表者】 中島 憲子 講師(大学・人間発達学部)
【研究課題名】 学校体育・スポーツがスポーツ観形成およびスポーツ価値意識に及ぼす影響
【平成22年度交付額】 1,560,000円



【研究代表者】 内田 和宏 講師(短大・食物栄養学科)
【研究課題名】 メタボリックシンドロームの発症に及ぼす栄養素摂取および食物消費構造の影響について
【平成22年度交付額】 780,000円



【研究代表者】 那須 信樹 准教授(短大・幼児保育学科)
【研究課題名】 組織的な保育力向上をめざす保育者研修の開発に関する研究
【平成22年度交付額】 2,080,000円

◎若手研究(B)



【研究代表者】 近江 雅代 准教授(大学・栄養科学部)
【研究課題名】 大量調理における生食用野菜の殺菌方法の有効性についての検討
【平成22年度交付額】 650,000円



【研究代表者】 橋本 弘治 講師(短大・幼児保育学科)
【研究課題名】 鞍点型問題に対する高速高精度保証付き数値計算法の構築
【平成22年度交付額】 1,820,000円

韓国語版が
発行され
ました!

「食農資源の 経済分析」

甲斐 諭
大学・流通科学部・教授
単著

「臨床栄養」
(臨時増刊号)
にトピックス
として掲載
されました!

「NAFLD/NASH の 予防・管理における 栄養ケア・ステーションの役割」

大部 正代
大学・栄養科学部・教授
(医歯薬出版)

飼牛教授の著書 ベンガル語翻訳版 が出版

平成22年2月、飼牛万里教授(大学・流通科学部)の著書「The Keeper of the Flame」のベンガル語翻訳版が、バングラデシュで出版されました(ニキール・プロカション社より)。

ベンガル語版の発行は、バングラデシュの著名な作家ファクルザマン・チョウドリー氏が、飼牛教授が英語で執筆した著書に強く感銘を受けたことを発端に、飼牛教授との1年余の交流を経て実現しました。バングラデシュで毎年2月に開催される、本に親しむ機会を国民に提供するためのブックフェア「ボイメラ」にも出展されました。新聞や月刊誌に掲載されるなど広く紹介され、注目を受けています。



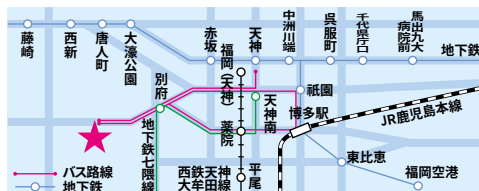
中村学園大学
中村学園大学短期大学部

入試課 / 〒814-0198 福岡市城南区別府5-7-1

TEL.092-851-6762 (入試課直通)

[URL] <http://www.nakamura-u.ac.jp/>

[E-mail] nyushi@nakamura-u.ac.jp



ACCESS

- 地下鉄七隈線 天神南駅から別府駅まで10分。
- 天神、博多駅から西鉄バスで約20～30分 [中村大学前] 下車
- 駐車スペースに限りがございます。公共交通機関のご利用をお願い致します。

広報誌セロリの定期購読について

定期購読をご希望の場合は、購読料（2年分）として郵便小為替1,200円分と、郵便番号・住所・氏名・電話番号を書いた紙片を同封の上、学事課宛にお送りください。なお、広報誌の発行は、年4回（4・7・10・1月）となります。※保護者の方には毎号送付しています。

[申込み先]

〒814-0198福岡市城南区別府5-7-1

中村学園大学 学事課「広報誌定期購読申込」係